

# 会 議 録

## 1 会議名

第1回柿崎区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1)報告事項（公開）

- ・第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について
- ・上越市柿崎マリンホテルハマナスの利用時間変更について
- ・平成30年度地域活動支援事業の実績報告について

### (2)協議事項（公開）

- ・地域活動支援事業の基本審査及び採択方針による審査
- ・地域の交通を考える会より意見書提出に向けての協議事項
- ・保育園を考える会の報告と今年度の取組みについての協議

### (3)その他（公開）

## 3 開催日時

令和元年5月8日（水）午後6時00分から7時36分まで

## 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、片桐充、加藤満、佐藤健、白井一夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、引間孝史、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・ 事 務 局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、保倉政博次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グル

ープ長、柿村勇市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、玉井智子産業観光班長、村山巧地域振興班長、長井英紀主任(以下グループ長はG長と表記)

八木智学総務管理部長、行政改革推進課 小酒井伸一副課長、松岡裕子係長、柿崎総合開発(株) 川瀬健代表取締役、岡田一昭支配人

## 8 発言の内容(要旨)

### 【保倉次長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・9番 高野委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

### 【小出会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に7番 佐藤委員を指名

### 【小出会長】

報告事項(1) 第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について説明をお願いします。

### 【八木総務管理部長、小酒井行政改革推進課副課長】

- ・資料NO. 1-1～1-3により説明

### 【小出会長】

柿崎コミュニティプラザ管理運営費の評価結果に戸籍届等の受付件数が少数とあるが、少数とはどの程度なのか。

**【小酒井副課長】**

戸籍等の受付けだが、平日の夕方5時15分から翌朝の8時30分までの間で13区全体で年29件となっている。月平均2.4件。住民票も同じく平日夕方から翌朝8時30分までで13区全体で年74件、月平均で6.1件となっている。各区別の内訳は現在手元にない。

**【小出会長】**

他に質疑等を求めるがなかったので、「第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について」を終了。

(八木総務管理部長、小酒井副課長、松岡係長退室)

**【小出会長】**

次に、報告事項(2)上越市柿崎マリンホテルハマナスの利用時間変更について説明をお願いします。

**【山田産業G長】**

・資料NO.2により説明

**【佐藤委員】**

一般市民への周知はどのように行うのか。

**【川瀬代表取締役】**

市民の皆様にご理解をいただきたいと考えているので、今月中旬以降、頸北地区の旧柿崎町、大潟町、吉川町については新聞折り込みチラシで周知したい。会社のホームページで周知を行うほか、利用者の皆様に対しては掲示物でご案内したいと考えている。

**【新部委員】**

今ほどの説明のなかで経営が非常に厳しいと言われたが、理由は何か。

**【川瀬代表取締役】**

温泉旅館、ホテルに対する時代の需要が変わってきた事が全国的な傾向として上げられる。ビジネスホテルとか1人、2人を対象としたホテルが主流となっていており、私どもの10畳和室を基準としたホテル、旅館は、やはり時代の流れにそぐわない状況となってきている。前は10畳であれば4人、5人といった標準的なグループ単位だったが、今は1人、2人。特に一人旅行が非常に増えてきている。そのほか、少子高齢化とか生活のスタイルが変わってきている事も大きいのではないかと考えている。

**【新部委員】**

営業的に時代の流れという事はあると思うが、今、どの地域まで営業を行っているのか。

**【川瀬代表取締役】**

地域の皆様に対する営業範囲としては、先ず頸北3町が中心となり、それに合併後の上越市全体。近県では新潟県、そして長野県、こちらについては直接営業に行っている。営業先については事業所とか学校、各行政施設が中心となる。それ以外にも、新潟県、長野県では旅行会社やバス会社を中心に回っている。

**【新部委員】**

こういうやり方は、やがて施設が閉鎖になるような見直しをしているとしか見えないが、これで先が見えるのか。

**【川瀬代表取締役】**

私どもは、今年度から指定管理の3カ年計画で最終的に黒字にするという計画に取り組んでいる。それに向かって最善の努力をするという事に尽きると思っている。

**【新部委員】**

先ほどの行政の説明資料の中に、第三セクター等の経営健全化の推進という項

目があった。この表の中に J－ホールディングスの状況が載っていて、単年度赤字が 4、累積欠損金有が 3、債務超過が 1 あるとなっているが、ハマナスはこのどれに当たるのか。

**【川瀬代表取締役】**

累積欠損金がある。

**【新部委員】**

ゆっつりの郷は行く度に様々な改善をされていて、お客さんが行きやすいような感じになっているように思う。マリンホテルは行きたくなるろうという気持ちを持ってお邪魔しても、どこことなく次に行きたいという気持ちがわからない雰囲気施設の感じになっているように感じる。

職員の教育はどのようにしているのか。

**【川瀬代表取締役】**

ホテルにとって、利用されるお客様が望まれるものは先ずサービス。それには当然従業員のマナーや対応がある。ほかにも料理内容や施設が快適であるかどうか、そういったものが色々ある。特に従業員の教育についてはホテルに限らず、どこの企業も最重要課題に据えて取り組んでいる。私どもも様々な会議でその都度指摘する事もある。また、研修を年 1 回、同業他社を視察して、現場に入り、ホテルに行けば厨房の人は厨房に入り、フロントの人はフロントに入る。そういう形で、他社ではどういった取り組みをしているのかを実地で見ている。このほか社長、支配人が年に 1 回、一人ひとりに 30 分～1 時間程時間をかけて、今抱えている問題点、自分が悩んでいるものも含めて聞き取りをし、会社の方針を伝えるような取り組みもしている。

**【新部委員】**

努力をよく感じた。頑張っていたきたい。

**【白井委員】**

令和になったが、吉川のゆったりりの郷では令和に関係したお膳を提供したり、利用者にお饅頭を数量限定で配ったりという事を行っていて、一年を通して色々な事を行っている。しかし、ハマナスではそういった取り組みがないように思う。そういう点を今後考えて行くつもりはあるか。

#### 【川瀬代表取締役】

令和の時代の変わり目という事で、マスコミで盛んに報道され、カウントダウンからはじまり、色々な店で様々な物を提供するという事が行われている事は十分存じている。マスコミに露出するというか、話題性の提供という面では非常に大きな意味があると思うが、私どもはそういった事は特にやっていない。

ただ、私どもが常日頃考えている事は、一年を通じて来られるお客様から喜んでいただけるサービスを提供していくという事。基本的なその仕組みについては様々な勉強もし、取り組んできた。今後もそういった面で一年を通じて、いつ行っても楽しい、季節毎に変化のある物を提供していくなど、そういったところに力を注いでいきたいと考えているので、ご理解をいただきたいと思う。

#### 【小出会長】

マリンホテルは絶妙なロケーションがあって、前のJ-ホールディングスの社長が「長期滞在型のホテルにしたい」、そして「従業員のモチベーションを上げてやっていく」という事を言われていて、素晴らしいと思って聞いていた。

今回、こういう昼の営業をやめるというのは儲かっていないから仕方がないという事は分かるが、そうしていくと一層自滅していくようにしか思えない。柿崎で映画祭をしたり、映画監督をお呼びしたり、他からお客様が来られた際には必ずマリンホテルを利用している。連泊されたりもしている。去年は赤松さんも来られ、関係者8名も2泊してくださり、素晴らしいと言ってとても喜んでいただいた。監督はホテルに入って、部屋から先ず海が見えるという事でフェイスブックなどにもアップしてくださった。

どこにセールスをかけているのかといった時に、頸北3町、旧上越市、県内、長野といったその辺りだけでなく、もっと首都圏など大きな網をかけてもいいのではないかと思う。マリンホテルハマナスは柿崎にとって大事な施設なので儲か

らないからやめるというのではなく、どうしたらいいのかを考えていただきたいと思う。

今日この案があったので昼にランチに行ってみた。生姜焼き定食で、野菜もたっぷり入っていておいしかった。850円はとてもリーズナブルだと思う。地域の人が行って、利用してみたくなる部分をもっと地域にアピールした方がいいと思うし、昼の営業をやめる事は非常に残念な気がする。もう少し頑張っただけでセールスしていただけないかと思っている。

もう1点質問だが、ツアー客・団体予約は受け付けると先ほど言っていたが、それは昼間のランチという事なのか、あるいはツアーの客以外でも地域の団体で依頼したらできるという事なのか。またそれはどのくらいからが団体という人数になるのか。

#### 【川瀬代表取締役】

ツアーについては基本的にランチである。会社の規模からいってバス1台程が限度かと考えている。

セールスについても、東京など首都圏、全国的にもそうだが、そういった所は色んな契約関係があるためホームページで周知している。最も利用度の高いものを地区別に調査しており、新潟県に次いで長野県、群馬県の需要が多いので、今はそこを重点に行っている。経費の問題もあるのでいきなり全国というわけにはいかないが、取り組みは行っている。

それから、今ご指摘のあったように、昼間の営業を土・日・祝日のランチに限定して、どんどん縮小するというような話があったが、確かに調査をしてみると土・日・祝日と平日では全くお客様の入り方が違う。コスト的な面も言われた通りだが、それ以上に今問題となっているのが、全国的にも一緒だが、雇用状況が非常に厳しくなっている。定年で辞められる、体の具合が悪くなって辞められる。その補充がここ1・2年急激に悪化しており、なかなか思うように補充、採用ができないという雇用環境がある。新聞等にも載っているように、今まで休んだことのない365日無休の超一流のホテルでも月に1回は全館閉鎖するという話が出ているのは、労務上の非常に大きな時代の変化があるという事の表れであると思う。いずれにしても会社が厳しい状況である事は十分承知している。そ

の中から何とか抜け出すために、今、様々な企画も練っている。会長がおっしゃられたように、この地区、特に私どもの会社は海というロケーション、そして温泉の質が非常に良い。各地で様々なアンケートを取っているが、それによれば非常に料理が良い、従業員のマナーが良い、そして眺めが良いと。この点については集計したものを行政にも提出している。個人的に考えている以上に来られた方の評価が高いのでリピーター率もここにきて着実に上がってきていると思う。これから非常に大きな意味を持つてくるのだらうと期待もしている。いずれにしても、地域の皆様に今後も当ホテルをご利用いただいてPRしていただきたい。それが25年前に遡る原点であるというふうに考えているので、この機会をお借りして改めて皆様方にお礼とお願いを申し上げる。

**【小出会長】**

マリンホテルは地域のおいしい米を使っているが、今日ランチに行った際に味噌汁が残念だったので、地元の味噌やそういった点にこだわってされたらいかがかと思う。コスト面で無理なのかもしれないが、その辺を頑張っていたきたい。

**【小出会長】**

他に質疑等を求めるがなかったので、「上越市柿崎マリンホテルハマナスの利用時間変更について」を終了。

(産業グループ、柿崎総合開発(株) 退席)

**【小出会長】**

次に、報告事項(3)平成30年度地域活動支援事業の実績報告について説明をお願いする。

**【長井主任】**

・資料No.3により説明

**【小出会長】**

質疑等を求めるがなかったので、「平成30年度地域活動支援事業の実績報告について」を終了。

**【小出会長】**

引き続き協議事項に入る。

はじめに、協議事項（1）地域活動支援事業の基本審査及び採択方針による審査を行う。

資料NO.4。本日は提案事業の内容が地域活動支援事業の目的と合致しているかどうかの基本審査と、柿崎区の採択方針に適合しているかどうかを協議し、決定する。

また、プレゼンテーションを実施していただくかどうかも判断する。

それでは最初の基本審査に入る。各自、事業提案書はご覧いただいていると思うので、地域活動支援事業の目的である「地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動であるという事」と合致していないと思われる事業について、意見があればお願いします。

**【小出会長】**

ないようなので、すべての提案事業が地域活動支援事業の目的と合致しているという事によろしいか。

・「はい」の声

**【小出会長】**

次に、柿崎区の採択方針に適合しているかについて。事業提案書に「採択の方針等との整合」の記載があり、すべての提案事業に優先して採択する事業の項目がいくつか入っていた。委員の皆さんもご確認の事と思うが、これを踏まえて何か意見があればお願いします。

**【小出会長】**

ないようなので、柿崎区の採択方針について、すべての事業が適合しているという事でよろしいか。

・「はい」の声

【小出会長】

次に、プレゼンテーションの実施について確認する。

先ず、新規の6事業は実施となる。継続の7事業のうち、プレゼンを希望した団体はなかった。その他に、地域協議会としてプレゼンを求める事業があるか協議する。意見はあるか。

【白井委員】

10番 黒川・黒岩ふれあい事業、16ピースにプレゼンをお願いしたい。

【新部委員】

9番 かきざき湖八重桜広場（柿崎川ダム第三土捨場）の周遊路整備事業、ガンバ米山のプレゼンをいただきたい。

【白井委員】

もう一つ。11番 人の和でつなぐコミュニティ活性化事業、柿崎いちもく会のプレゼンをお願いしたい。

【小出会長】

これは新規なのでプレゼンの対象となる。

【小出会長】

新規6事業と今ほど上がった2事業を加え、8つのプレゼンをしていただくと  
いう事でよろしいか。

・「はい」の声

**【小出会長】**

次に、審査に当たり定める事項にある「委員の除斥」について確認させていただく。地域協議会委員が役員（会長、副会長）を務める団体が提案した事業については、そのプレゼンテーション及び審査に参加する事ができないこととなっている。佐藤委員が、柿崎夕日フェスティバル実行委員会の委員長をされている。このほかに該当者はいないか。

- ・委員から声なし。

**【小出会長】**

では、佐藤委員のみ除斥とさせていただく。

**【小出会長】**

次に今後のスケジュールを確認する。事務局から説明をお願いする。

**【長井主任】**

- ・ 5月13日に事業提案団体へ事務局から質問票を送付。
- ・ 事業提案団体からの回答を取りまとめ、5月24日に委員へ回答集と採点票を送付。
- ・ 5月28日に第2回柿崎区地域協議会でプレゼンテーション実施。
- ・ 5月30日までに委員は採点票を事務局へ提出。
- ・ 6月4日に正副会長会議。
- ・ 6月7日に第3回柿崎区地域協議会で採択事業の決定。

**【吉井委員】**

昨年度採点票をメールでもらったと思うが、今年もお願いできないか。

**【小出会長】**

今年度、メールにて採点票の受け取りを希望する委員の挙手を求める。

**【長井主任】**

希望者確認。

**【小出会長】**

スケジュールについて終了する。

「地域活動支援事業の基本審査及び採択方針による審査」を終了。

**【小出会長】**

次に、協議事項（２）地域の交通を考える会より意見書提出に向けての協議事項について、吉井委員長から説明をお願いする。

**【吉井委員】**

・資料NO. 5により説明。

**【吉井委員】**

追加で説明をさせていただく。現在バス路線のない地域にバス路線を引く事に関して、具体的には現在柿崎区内の各町内にバス路線がない、あるいは停留所がない町内がたくさんある。そういった所に先ず路線を引けるかどうか、それから最低1か所の停留所を設置する事を一つの大きな目標に掲げたいと思っている。

一日4便が必要というのは、午前2便・午後2便、このくらいの便数がないと逆に利用できなくなるというのが地域の交通を考える会の大勢を占めた。この主旨に則って今後提案書を作成し、しかるべき時に皆さんに見ていただき、皆さんの同意が得られればそれを柿崎区地域協議会の意見として、意見書という形で市長に提出したいと思っている。皆さんの意見を求める。

**【佐藤委員】**

現在バス運行のない地域に路線を引くという事や、最低1か所の停留所の設置、1日4便は必要という内容はとても重い目標値だと思う。そう簡単にはいかないのではないかとと思っているが、これはあくまでも目標という事でいいか。

いつごろまでに再度検討委員会を開きながら協議をされる予定か。

**【吉井委員】**

本日、協議事項の骨子を皆さんに承諾していただければ、今月中に地域の交通を考える会の委員会を開催し、委員会で再度協議した後、行政とも相談し、6月8日以降に意見書を作成して7月以降の本委員会に提出したい。我々の任期は今年度中なので、少なくとも今年度ではなく、今年中に意見書を提出したいと思っている。

**【小出会長】**

他に質疑を求めるがなかったので、「地域の交通を考える会より意見書提出に向けての協議事項」を終了。

**【小出会長】**

次に、協議事項（3）保育園を考える会の報告と今年度の取組みについての協議について、薄波委員長より説明をお願いします。

**【薄波委員】**

・資料NO. 6により説明

**【小出会長】**

①～③について協議をお願いします。

**【佐藤委員】**

なぜ地域・町内会の皆さんの意見を聞くという事がないのか。

**【薄波委員】**

昨年度、地域に対しての懇談会を実施させていただいた。その懇談会の意見の中で保護者に聞くべきという意見も多数あがっていた。保護者は地域の方でもあるので、今回は保護者にターゲットを当ててみてはいかがかと考えた。

**【佐藤委員】**

地域にある保育園については、やはり町内会の皆さんの意見が重要だと思う。

地域によっては、委員会や役員会といったものがあるので、そういった意見を重要視するべきだと思う。

**【薄波委員】**

保護者の意見の中に「保護者会に来てほしい」という意見もあり、今、現役で保護者をさている方からの意見もあったので、今回はこの3点を考えてみた。

**【小出会長】**

佐藤委員はこの3点のほかに、該当する町内会に再度聞いて欲しいという事なのか。町内会となると、なかなか若い世代が出て来ず、一家から一人くらいしか出て来ないのではないかという事で、もう少し掘り下げて広く聞きたいという事からこのような案を提案したのだと思うがいかがか。

**【佐藤委員】**

保護者の皆さんがと言っても、保護者の責任者というのは1年であり、1年毎に交代する。そういう人が集まっても無意味ではないのか。やはり地域における町内会の皆さんの意見というのは重要だと思う。また、そういった意見を重要視していってもらわないと、おそらく様々な問題点が出てくると思う。

**【太田委員】**

佐藤委員の意見と一緒に。特に上下浜会場が多かったという事もあるが、町内会長さんからどうしてこういった話になったのかという批判的な話も聞かれたわけである。例えば①にしても、その前に町内会長や地区の役員がこうした事を知った上で、保護者と共有したなかで話を進めていく方が順序としては良いのではないか。

**【小出会長】**

では、地域協議会が聞くのではなく町内会が集まって保護者も呼び、意見を取りまとめた方が良いということか。

**【太田委員】**

そうではなく、地域協議会で町内会長にも話を聞いてもらうという事である。

**【佐藤委員】**

再検討してもらいたい。

**【薄波委員】**

昨年度、3月に開催した懇談会は地区毎の地域懇談会だったと思うが、今のお話ではまた同じ事を今年度も行う形になってしまう。今年度は視点を変えて開催してみたいと思いこの3点を提案した。例えば、どこの地区でも「保護者の意見は聞いてきたのか」というような声があったため、昨年度の地域懇談会も踏まえてステップアップしていこうと考えた。

同じような集め方をしても同じ事の繰り返しで、「保護者に聞いてきたのか」と地域で言われてしまう心配もある。

**【小出会長】**

2名の委員から町内会にも聞いて欲しいという意見が出たが、この件に関してはみんなの保育園を考える会の皆さんで検討してもらおうこととし、この①～③の3点は実施するという方向でよろしいか。

**【武田委員】**

薄波委員長が言われたように、昨年度、地域の皆さんのところに行ってもあの程度の人数。今年またやっても同じ事を繰り返すのだと思う。2回同じ事をやるのであれば、先ほど佐藤委員が言われたように、各町内会長にというのであれば、一度町内会長会に質問内容を伝えて町内会・地域の意見としてまとめてもらうのも一つの方法ではないか。同じように懇談会を行っても、また今年と同じような意見が出て終わると思う。

それから、保育園がどうあるべきかという中学生からの意見は本当に必要なのか。今12、13歳の子どもに保育園がどうあるべきかを聞いても全然ピンとこないのではないか。将来、男の人は柿崎に残る可能性も多いが、女の人に残らない人の可能性も半分くらいあると思う。あまり関係ないと感じてしまうかもしれないし、それよりも現在の保護者または保護者経験者から過去にここが困ったというような意見を聞く方が重要なのではないかと思う。

#### 【小出会長】

町内会については町内会長会で一度検討してもらい、まとめて地域協議会に届けてもらうというような意見も出たが、それも一つの方策だと思う。

昨年度は地域に出向いて懇談会をしているので、確かに「今年もまた懇談会をやるのか」となるかも知れない。そうならないかも知れないが、この流れのなかでこういうふうに行っていきたいという保育園を考える会の皆さんの案である。これについて他に意見はないか。

#### 【小出会長】

先ほどの武田委員からの提案で、町内会長会の方で検討していただいて保育園について意見があれば出してもらうという事についてはいかがか。

#### 【佐藤委員】

そうではなく、保育園を考える会の中に、該当する町内会の役員を委員として入れてもらうのはいかがか。

前回の会議の時に4月中に地元の意見を集約しようという話をしたと思うが、ゴールデンウィークで10日間も休みがあったので4月はできなかった。これから5月中に町内としての今後の保育園のあり方について意見交換を実施したいと考えている。そのあたりの意見も取り入れるとなると、保育園を考える会の中に町内会の代表者でもいいので入れてもらい、その意見を取り入れるというのも一つの方案だと思うがいかがか。

#### 【武田委員】

保育園を考える会の委員に一般の方を入れるというのは、協議会の会合ではなく新規に会を立ち上げるという事か。新規で立ち上げるのであれば良いが、これはあくまでも協議会の中の検討委員会であって一般の方が入る委員会ではないと思う。

**【小出会長】**

地域協議会の委員会としては今のところ一般の方を加えるという事はないと思うが、例えば佐藤委員も町内会長である。もし町内会長を入れるという事であれば、佐藤委員からこの委員会に入らせていただくということは可能なのか。

**【佐藤委員】**

最初に、私は入らないと言った。

**【小出会長】**

先ほど、入った方が良いという意見を出されていたので、ご自身が入られるのが一番早いように思うがいかがか。

**【白井委員】**

町内会長連絡協議会で全町内会長から意見を募るという意見もあるが、残念ながら柿崎地区で行った時に町内会長が2・3人しかいなかった。意識が低いと感じる。それを57人の町内会長を集めて意見を募ったところで一つの意見にまとまらないと思う。かといって現在子どもを通わせている保護者の仲間に聞いてもみんな無関心。なかなか難しい話だとは思いますが、実際に保育園に通わせている保護者の皆さんから意見を聞くのが一番良いのではないかと思います。

**【薄波委員】**

今まで出していただいた意見をもとに、みんなの保育園を考える会の委員会でまた今年度の活動について考え直していきたいと思う。確認だが、全町内会長であると地域によって温度差があるのかと思って聞いていたが、例えば関心を持っている地域と保育園を考える会が話し合いの機会を持つというような会を設けて

も大丈夫なものか。計画を立てるにあたって委員会レベルで可能なのか、それとも地域協議会として関心のある地区の町内会長と話し合いを持つとか、こういったものが可能であるのか。

**【小出会長】**

薄波委員長より発言があったが、これについて意見を聞きたい。いかがか。

**【吉井委員】**

みんなの保育園を考える会の提案だが、懇談会を実施した後で、結果として実際に保育園に通わせている保護者、あるいはこれから通わせるであろう保護者の方々からの意見が少なかったという事で、そういった方々の意見を聞きたいということである。少なくとも①番と②番は、意見交換をさせてもらえないかというのが今回の協議事項になっているので、それに対してこれは必要ないとか、これは進めてくださいとかという話をこの地域協議会で今日結論を出す必要があるのではないか。今、薄波委員長はこの件を持ち帰って再度委員会で検討すると言われたが、委員会に持ち帰って検討しても同じことの繰り返しではないか。そういう話をしている間に1年が終わってしまう。

**【小出会長】**

持ち帰るのではなく、今協議して決めた方が進むのではないかという意見だがいかがか。

**【金子副会長】**

この前の地域懇談会で、保育園の問題があるのでぜひ保育園の保護者、特に保護者会の正・副会長さんを中心に来ていただきたいと直接4つの各保育園を回ってお願いし、来ていただいた経緯があるが、実際に子どもを保育園に預けている、あるいは育児している方々が一番の中心だと思う。子育てを終えた方であっても、今までの経緯の中でこうあってほしいという想いは強いと思う。私は、この①番と②番は大事なと思う。③番はスケジュール的にも会場や数的にも大変だと思うし、何度も開催できないと思う。その辺も含めて①番と②番は保育園を

考える会の意見として尊重されるべきではないかと思う。

**【小出会長】**

どのようにしたらよいか、意見を求める。

**【渡邊委員】**

みんなの保育園を考える会というのは柿崎区地域協議会で設けた会である。そこで協議した内容に対し、例えば提案書・意見書を出す時に、もし町内会の意見を聞かないとどのような形になるのかという事まで考えると意味合いが変わってくるのではないか。意見を聞くという部分は必要な事だと思うが、どういうふうに聞くかという事については、みんなの保育園を考える会の中で検討して、アンケート的に町内会長からお聞きするのか、その辺の内容についてはその会の中で検討していくべきではないか。あくまで地域協議会の中の一つの委員会だということで、意見書を出すところまでは保育園を考える会の責任でやっていただく形になるのではないか。

**【小出会長】**

①番と②番については行うという事で良いか。

・「はい」の声

**【小出会長】**

異議なしと認める。

③番目については色々意見が分かれるところだが、やらないというのも惜しい話だと思うので、今後の予定などをまた考える会で協議して決定してもらってもよいか。

また、先ほど渡邊委員から意見書を出すにあたっては町内会等にまた意見を聞く必要もあるのではないかという意見も出た。一回聞いたからもうよいという事ではなく、該当する町内会長等と、それをテーマにして話し合っただけで地域協議会の方に声を届けていただくというスタンスでいかなものか。

もしそこで、どうしても地域協議会の委員会と話し合いたいという事であれば、そこに出向くという事もやぶさかではないと思うが薄波委員長、いかがか。

**【薄波委員】**

おっしゃる通りだが、地域に出向くとしても、こちらも保護者の声を集めた上でないと行けないと思っている。そんなに簡単にいくような事ではないと思っている。

**【小出会長】**

①番②番を重点的に最初に行う事が大事だという事は皆さん承知だと思う。そこで町内会長から意見を聞いてほしいという事であれば、会長・副会長だけでも出向いてお聞かせいただいたり、取りまとめている薄波委員長が出向いてお聞きするといった事も出来るように思う。

この協議については、以上でよろしいか。

・「はい」の声

**【小出会長】**

「保育園を考える会の報告と今年度の取組みについての協議」を終了する。

協議事項は以上とする。

その他に入る。

**【佐藤委員】**

この後、地域協議会だより編集委員会を開催させていただく。編集委員の皆さんはお残りいただきたい。

**【村山班長】**

今後の日程の確認。

・令和元年度 第2回柿崎区地域協議会の開催日

日時：令和元年5月28日（火）午後6時～

会場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

内容：地域活動支援事業プレゼンテーション

- ・令和元年度 第3回柿崎区地域協議会の開催日

日時：令和元年6月7日（金）午後6時～

会場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

内容：地域活動支援事業採択

当初の予定どおりでよろしいか。ご審議いただきたい。

#### 【小出会長】

予定通りでよろしいか。

- ・「はい」の声

#### 【金子副会長】

- ・閉会を宣言

(午後7時36分閉会)

#### 9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：[kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp)

#### 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。